

# ミニガイド

生誕  
100年

森英恵

ヴァイタル・タイプ



HANNAE MORI

Vital Type: The 100th Anniversary of Birth

2026.4.15(水) - 7.6(月)

新国立新美術館  
THE NATIONAL ART CENTER, TOKYO

はじめに

# 世界のハナエ・モリ



②「ひよしや」開店の頃—1950年代半ば—提供：森英恵事務所

森英恵さんは、1926年生まれの

ファッション・デザイナー。

みんながあこがれる服をデザインして、

世界中でその名前が知られています。

この展覧会では、チョウの絵がらの

ドレスなど、森さんが生み出した

たくさんの作品と、森さんの人生を

しょうかいたします。

森さんには、理想とする女の人の  
イメージがありました。それは、彼女が  
「ヴァイタル・タイプ」とよんだ、  
「仕事もくらしも一生けん命な  
いきいきとした女の人」です。

まさに、自分自身もヴァイタル・タイプとして  
大かつやくした森さんは、チョウのように  
いきいきと羽ばたきながら世界中に  
ファッションのすばらしさをつたえました。

さあ、森さんの人生をいっしょに  
めぐってみましょう！

## ●展示室でのおねがい

作品には  
さわらないでね

ゆっくり  
歩きながら見よう

お話しする  
ときは小さな声で

かくときは  
えんぴつを使おう

# 家の中だけが自分の世界ではない!

大学を出て、すぐにけっこんした森さんは、「家の中ではできない新しいことがしたい!」と思い、洋服作りを学べる学校に通いました。その後、自分で作った洋服と服を作るための布、そしてバッグや小物を売るお店を、東京の新宿に開きます。お店はすぐにひょうばんになり、映画のいしょう作りをたのまれるようになりました。仕事がとてもいそがしい毎日でしたが、森さんは、子どもを育てるお母さんとして、家族と過ごす時間も大切にしていました。

森さんのお店「ひよしや」は、道路から見えるところに大きなガラスまどがあって、きれいな色のドレスががざられたよ。それを見て、たくさんの人が来店したんだ。

ポイント



今とくらべると、けっこんしてから家のこといがないの仕事をする女の人は少なかったんだよ

映画や俳優のイメージにぴったりの服を作る森さんには、仕事のおねがいごとがどんどんきたよ。なんと数日本の映画でいしょうを作ったと言われているんだ。

ポイント



③ 森英恵「赤い花柄の男性用アロハシャツ(映画『狂った果実』衣装)」  
1956年 島根県立石見美術館



家にテレビがなかったこのころ、映画がみんなの楽しみだったんだね



④ 森英恵「デイドレス(映画『波止場の鷹』衣装)」  
ハナエ・モリ | 1967年 | 島根県立石見美術館

# いよいよ海外へ、日本らしさでちょうせん!

はじめての海外旅行でフランスやアメリカに行った森さんは、自分が作った服を外国にも広めたいと考えるようになりました。そこで、着物の生地や日本のものをよく勉強し、布や絵がらで日本らしさをあらわした洋服をデザインして、アメリカで発表します。もともと西洋で生まれた「洋服」に、昔からある日本の着物のすてきなところをとり入れたドレスは、たちまち大人気になりました。

ポイント

日本の着物のおびや和服の生地などで洋服をつくったよ。  
日本のいろんな場所<sup>ばしょ</sup>で、長い間作られてきた布をさがしだして使ったんだ。

「洋服」は西洋から日本につわってきた服。  
日本の着物は「和服」ともよばれるよ。



⑤ 森英恵 | イヴニングアンサンブル (コート、ドレス) | ハナエ・モリ | 1968年 | 島根県立石見美術館



ポイント

日本らしさがある新しい洋服を作るため、布作りのプロたちといっしょに生地<sup>ぢ</sup>のデザインを考えたよ。花や波などの日本の伝統的なものを、大きながらやあざやかな色であらわしたんだ。

⑥ 森英恵 | イヴニングドレス (テキスタイル「胡蝶の夢」) | ハナエ・モリ | 1973年春夏 | 島根県立石見美術館、マーク・ボメロイ氏寄贈



森さんのデザインを代表する、チョウが登場するドレスだね



⑦ 右近テキスタイルデザインハウス「テキスタイル「胡蝶の夢」」四季ファブリックハウス | 1973年頃 | 森英恵事務所



# 日本のくらしをデザインでかえよう!

海外で最新のファッションを目にした森さんは、すてきにデザインされたものにかこまれてくらす楽しさを、日本の人にも知ってほしいと思うようになります。そのために、自分が作ったざっしで新しいファッションをしょうかいしたり、せい服やせんたくきなど身近なものをデザインしたりしました。毎日しごとのくらしをすてきにするていあは、森さんの一生の仕事になりました。



⑫『森英恵流行通信』No. 42、1968年1月15日 | ファッションハウス 森英恵 | 島根県立石見美術館

⑬『流行通信』No. 63、1969年4月 | 流行通信編集室 (株式会社ひよしゃ) | 島根県立石見美術館

ポイント

くらしの中にあるものに、森さんらしいデザインをくわえて、日本のみんなの生活をぐっとおしゃれにしたよ。



チョウ  
かわいいせんたくき!  
家の中が  
はなやかに!!



見て見て!  
スカーフにも  
チョウがいるね



⑩ 森英恵「ATMフェイェス制服 夏服」2000年 | 公益財団法人水戸市芸術振興財団  
⑪ 森英恵「客室乗務員制服(6代目)」1977年 | 日本航空株式会社

ポイント

とくべつな日に着るドレスだけでなく、仕事のとぎに着る服などもデザインしたよ。おしゃれで動きやすい服を作って、着る人の毎日のくらしをおうえんしたいと思っていったんだ。



⑭ 森英恵「デイドレス「ヴィヴィッド」」1969年以降 | 島根県立石見美術館



# ファッションへの止まらない思い!

日本やアメリカでのかつやくをみとめられた森さんは、フランスのパリで「オートクチュール」というとくべつな<sup>ふく</sup>服を<sup>はっぴょう</sup>発表するファッションショーに、アジア人としてはじめてさんかしました。色やがらをいかしたこれまでのデザインにとどまらず、新しい<sup>ふく</sup>服作りにもチャレンジします。<sup>ぬの</sup>布をあむ・おる・かさねるなどして形を作った服、細かいししゅうでかざった服…。森さんのあつい思いから生まれた服は、ますます<sup>せ</sup>世界中の人をむちゅうにさせました。

ポイント

「オートクチュール」のドレスは、  
着る人に合わせて作られる、  
世界に一つだけの最高級の服なんだ。  
プロの職人<sup>しごと</sup>さんが手で作っているのがとくちようだよ。

④ 森英恵「イヴニングドレス」  
ハナエモリ オートクチュール  
2004年秋冬  
株式会社佐藤しのぶアートガーデン



ポイント  
和服<sup>わふく</sup>だけじゃなくて、日本の家や生活の  
道具<sup>どうぐ</sup>などからもデザインのアイデアを見つけたよ。  
この服には、日本の伝統<sup>でんとう</sup>的な<sup>な</sup>かごみだいにあんだ布<sup>ぬい</sup>が、  
かざりとしてとりいれられているんだ。

キラキラした  
ビーズやスパンコールが、  
まるで宝石<sup>ほうせき</sup>みたい!



黒一色だからこそ、  
ツヤツヤした<sup>つや</sup>部分<sup>ぶぶん</sup>の布が  
目立って、服の形が  
立体的<sup>りったいてき</sup>に見えるね



⑤ 森英恵「カクテルスーツ」  
(ジャケット、スカート)  
「シルクサテンとウール地で網代<sup>あみしろ</sup>編みを  
あしらったカクテルスーツ」  
ハナエモリ オートクチュール  
1989年秋冬 一島根県立石見美術館

## おわりに

もりはな え  
森英恵さんは、生まれてから小学4年生のときに  
東京にひっこして来るまで、モンシロチョウがまう  
しぜん しまねけん  
自然ゆたかな島根県ですごしました。

デザインのシンボルとしてよく使われていたチョウは、  
ふるさと<sup>ふうけい</sup>の風景から生まれたものです。  
どんなに海外で有名になっても、ずっとふるさと、  
日本を大切にしてきた森さん。

日本のすばらしさを世界<sup>せかい</sup>へ、ファッションの  
楽しさを日本へ、というねがいをのせた「チョウ」は、  
森さんが作った作品<sup>さくひん</sup>のなかで、今もまるで  
ひこうきのようにいきいきと世界中を  
とびつづけています。



表紙：① 森英恵 | イブニングドレス | ハナエ・モリ オートクチュール | 1982年秋冬  
裏表紙：① 森英恵 | イブニングドレス「役者絵をあしらった深い海の色、  
シルクサテンでジャンプスーツ」 | ハナエ・モリ オートクチュール | 2004年秋冬 |  
島根県立石見美術館  
撮影：石井幸之助 (②)、小川真輝 (①、③～⑦、⑩、⑬、⑮、⑰) 杉本和樹 (⑧、⑨)

⑮ ハナエ・モリ ファイナルオートクチュールコレクション  
2004年7月7日 提供・森英恵事務所

みんなもファッション・デザイナー！

だれに  
着てほしい？

どんな色を  
している？

なにで  
できている？

どんなときに  
着たい？

自分だけの服<sup>ふく</sup>をかいてみよう！！

# 生誕100年 森英恵 ヴァイタル・タイプ

2026年4月15日(水) - 7月6日(月)

国立新美術館 企画展示室1E



休館日：毎週火曜日 \*ただし5月5日(火・祝)は開館

開館時間：10:00-18:00

\*毎週金・土曜日は20:00まで \*入場は閉館の30分前まで

主催：国立新美術館、テレビ朝日、東京新聞

特別協力：森英恵事務所、一般財団法人森英恵ファッション文化財団

企画協力：島根県立石見美術館

ウェブサイト：<https://morihanae100.jp>

## 「生誕100年 森英恵 ヴァイタル・タイプ」ミニガイド

編集：国立新美術館 教育普及室 執筆：柴澤希、神和夏

デザイン：中西要介(STUDIO PT.) イラスト：古市杏弥(STUDIO PT.)

印刷：株式会社サンエムカラー

発行：国立新美術館

発行日：2026年4月15日

©2026 国立新美術館